

住吉・城東地区 地震・津波避難支援マップ

平成26年3月

地震・津波避難支援マップ

この地図は南海トラフ巨大地震で発生する津波に対して、前もって各人が「こんな時はこう避難しよう」と、避難場所や避難経路をあれこれ考えるために必要な情報をまとめたものです。

避難時の移動速度は障害物や負傷者や高齢者の介助等で半分程度になると言われています。破損して避難できない建物や通れない道路が発生する可能性もあります。近隣にある複数の避難場所・避難路を確認して、もしもの時に備えて下さい。

津波避難ビルと一時避難場所

この地図には津波避難ビル（徳島市が指定した建物）と一時避難場所（町づくり協議会が協力を依頼した建物）を示しています。いずれも津波から命を守るため一時的に待機する場所で、階段や廊下の共有スペースを使用します。一部を除いて食料・毛布等の備蓄はありません。

夜間・休日等に施錠される津波避難ビルには、かぎ保管庫が付けられています。収容力の大きな津波避難ビル・避難場所には、約15分で到達できる円（半径500m）を付けています。

建物名称の（ ）内の数は、基準水位（津波が建物に衝突したときの水位上昇を考慮した想定浸水深）上にある避難スペースの収容人数です。津波避難ビルの情報は徳島市ホームページで随時更新されています。

諸事情で地図に掲載していない一時避難場所もありますので、自主防災会や町内会にお問い合わせ下さい。

想定される最大クラスの津波

〔徳島市マリニピア東端〕

津波影響開始時間 25分

最大波の到達時間 53分（第1波）

最大波の水位 5.0m（T.P.）（第1波）

徳島県（平成24年10月31日）公表



かぎ保管庫がある津波避難ビル



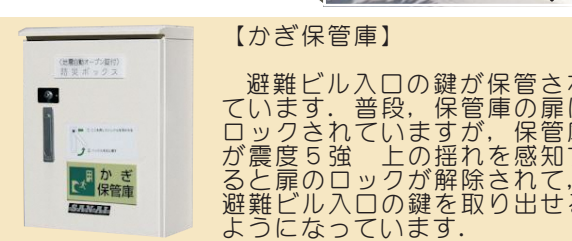
住吉・城東
コミュニティセンター
（建物北東隅）



城東小学校
（北正面玄関）



徳島商業高等学校
（本館正面玄関）



【かぎ保管庫】

避難ビル入口の鍵が保管されています。普段、保管庫の扉はロックされていますが、保管庫が震度5強以上の揺れを感じると扉のロックが解除されて、避難ビル入口の鍵を取り出せるようになっています。

地図記号など

- 津波避難ビル・避難場所
（ ）内の数字は基準水位以上にある共用スペースの収容人数。鍵マークはかぎ保管庫
- 一時避難場所
- 国道・主要地方道・県道
- 地域避難路（広い）
路側帯のある比較的広い避難路
- 地域避難路（狭い）
路側帯のない避難路やブロック壁が多い避難路
- 道路
- 避難方向・建物入口

学校・公園・寺社等の敷地

要注意箇所
高いブロック壁、局所的に狭くなっている道路、落下や転倒しやすい物、橋など、避難時に特に注意を要する箇所

防災倉庫

2.3 地盤標高（T.P.m）
T.P.は東京湾平均海面のこと、日本全国の標高の基準となる海面の高さ

10分
350 300 200 100 0m
【地図スケール】

平時の成人歩行速度は70m/分程度ですが、災害時には障害物や負傷者介助のために、半分程度にまで遅くなると言われています。

地域避難路



地域避難路は比較的広くて見通しの良い道路です。地域の各所に最寄りの主要避難路への方向を示す反射誘導表示板が設置されています。

「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2500地形図を複製したものである。（承認番号 徳島市指令都政第17号）」

製作：住吉・城東地区町づくり協議会/徳島大学環境防災研究センター/徳島市（お問合せ先：住吉・城東コミュニティセンター 088-656-6570）